



事業所(白ナンバー車)の飲酒運転根絶取組強化!

令和4年4月より改正道路交通法施行規則が順次施行されます

- Point① 自動車を使用する事業所は安全運転管理者の選任が必須となります。
 Point② 令和4年4月より、安全運転管理者による運転者の**目視による運転前後のアルコールチェックが「義務化」**されます。
 Point③ 令和4年10月より、**アルコール検知器によるチェックが「義務化」**されます。

違反した事業者には、罰則・罰金が科せられます!

自動車を使用する事業所は **安全運転管理者の選任が必須** です!

安全運転管理者の

選任

一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所等)ごとに、自動車の安全な運転に必要な業務を行う者として**安全運転管理者の選任**を行わなければなりません。
 自動車の保有台数に応じて副安全運転管理者の選任が必要になります。
 安全運転管理者・副安全運転管理者になるには一定の要件があります。



乗車定員が11人以上
の自動車1台以上

または



その他の自動車5台以上
※自動二輪車(原動機付自転車を除く)
は1台を0.5台として計算

⚠️ 自家用車の業務使用も対象

安全運転管理者の

業務



交通安全教育



運転者の適性等の把握



運行計画の作成



交替運転者の配置



異常気象時等の措置



点呼と日常点検



運転日誌の備付け



安全運転指導

安全運転管理者の

届出

- 安全運転管理者等を選任した時は、その日から15日以内に事業所を管轄する警察署に必要な書類を提出してください。
- 安全運転管理者の制度に関するご不明点は、都道府県警察のホームページをご覧ください
 どうか警察署へお問い合わせください。



令和4年
4月より

安全運転管理者による
 運転者の**運転前後のアルコールチェックが**
「義務化」されます。

令和4年
4月1日施行



運転前後の運転者の状態を目視等で確認することにより、
 運転者の酒気帯びの有無を確認すること



酒気帯びの有無について記録し、
記録を1年間保存すること

令和4年
10月1日施行



運転者の酒気帯びの有無の確認を、
アルコール検知器*を用いて行うこと



アルコール検知器を **常時有効に保持** すること

※呼気中のアルコールを検知し、その有無又はその濃度を警告音、警告灯、数値等により示す機能を有する機器



安全運転管理者の制度に関するご不明点は、
 都道府県警察のホームページをご覧ください
 どうか警察署へお問い合わせください。

<これからのスケジュール案>

- ① 会社所有車の台数を確認しましょう。
5台以上(または乗車定員11人以上の自動車1台以上)保有

2022.1



対象事業者です

(会社の経費で運転している個人所有車も対象です。)

- ② 安全運転管理者の選任
まだ選任していない場合。

2022.2



選任後、管轄警察署に必要書類を提出

- ③ 令和4年4月1日施行対応について
運転前後の運転者の状態を目視等で確認
記録を1年間保存

2022.3



フォーマットを2~3月中に作成しましょう。

- ④ 令和4年10月1日施行対応について
アルコール検知器の選定

2022.1

■ 運転者は必ず会社発着する

→ Aタイプ×1台

■ 運転者が出張・直行・直帰する場合がある

→ Aタイプ×1台(社内設置)

2022.4

+出張・直行・直帰の可能性のある従業員

Bタイプ×対象人数分

■ 安全運転管理者の負荷を軽減したい

→ A1

■ 安全運転管理者に負荷がかかっても経費を抑えたい

→ 管理ソフトを使用せず、フォーマットを作成して

都度手入力管理

※1) Aタイプの商品はメーカーによる定期メンテナンス(有償)が必須となります。

※2) Bタイプは既に入荷4か月待ちです。施行までに機器を調達出来ない可能性が高いので、4月くらいまでのご購入をお勧めいたします。



令和4年10月までに準備が必須です
(安価タイプはすでに入荷4か月待ちです!!)

タニタのアルコール検知器は**アルコール検知器協議会認定品**

POINT
1

車両使用時の勤務体系に合わせた測定ができる機器を選ぶ



CASE 1
事務所で出庫・帰庫する
ことが多い



A



CASE 2
事務所で出庫・帰庫以外
に直行直帰や出張も多い



B



POINT
2

希望する保存方法に対応した機器を選ぶ



CASE 1
PCで管理



メリット

- 管理が楽
- 測定時の顔写真も記録できる
- データの修正ができないので不正防止になる

デメリット

- PCを設置するスペースが必要
- PC管理ソフトの購入が必要



CASE 2
紙・手書きで管理



メリット

- 安価に始めることができる

デメリット

- 管理が煩雑になる
- 管理方法によってはデータの修正ができてしまう



POINT
3

効率よくメンテナンスや買替を実施できるように
年間の測定回数にあった機器・台数を選ぶ

巻末Aタイプ: 定期メンテナンス必須

(20,000回または使用開始から1年<どちらか早いほう>)

巻末Bタイプ: メンテナンス不可(壊れたら買い替えとなります)

POINT
4

センサーの種類について



燃料電池式



- アルコール以外にほぼ反応しない高精度なセンサー
- 半導体と比べると高価格

半導体式



- 安価で導入しやすい
- アルコール以外でも匂いの強いものに反応することがある

現状納期:ご注文後約2週間

複数支店での運用、多人数対応を実現!  全日本トラック協会・助成対象品

アルコール検知器ALBLO FC-1200

アルコール検知器ALBLO FC-1200は、タニタの最新技術を集約し、高精度、簡単操作、低価格のままに、測定データの出力や直接サーマルプリンターと接続し結果を印刷できるなど、管理者の多彩なニーズにお応えする高機能モデルです。



購入時メンテナンス契約必須

定期メンテナンス1回:
¥20,000円(税別)
もしくは
定期メンテナンス3回パック
¥13,000円(税別)×3回

¥190,000円(税別)
＜専用ソフト・各種オプション・ソフト設定費込＞

A



B



I アルコールチェッカー HC-310 (ブラック)

現状納期:ご注文後約4か月

¥6,000円(税別)
＜諸費用込み＞

- 測定時アルコール濃度表示と検知時色別表示
- センサー寿命または故障時は買い替え



こちらの商品は一部販売店のみでの取り扱いとなります。

わかりやすいアルコール検知結果

アルコールが検知されるとバックライトが赤く点灯し、アラームが鳴ります。

(アルコールが検知されない場合はバックライトは緑色に点灯)

- ・センサーキャップを持ち上げるだけで電源ON
- ・半導体センサにより、呼気中のアルコール濃度を的確に測定。
- ・携帯に便利。ワイシャツの胸ポケットにすっきり収まるサイズ。
- ・センサー寿命は測定回数1000回または購入後1年です。



I アルコールチェッカー EA-100 (ホワイト)

現状納期:ご注文後約4か月

¥8,000円(税別)
＜諸費用込み＞

- 測定時アルコール濃度表示と検知時アラーム
- 前回数値確認可能
- センサー寿命または故障時は買い替え



飲酒エチケットをチェックできる

- ・息を吹きかけるだけで呼気中のアルコール濃度を確認できます。
※測定範囲: 0.00~0.50mg/L 0.05mg/L単位 (0.05mg/L未満は0.00mg/L表示)
- ・飲酒時や飲酒後、その翌日に測定することで、体調や人によって異なる酔い度合いを簡単にはかることができます。

※センサー寿命は購入後1年経過または1000回測定した場合のどちらか早い方となります。

※センサー使用回数が1000回以上になると「SENSOR」 「OVER」マークが点灯表示されます。



アルコールチェッカー EA-100 ホワイト

B

